

# KTK ひゅうまん 京都

No. 518 2020年1月号

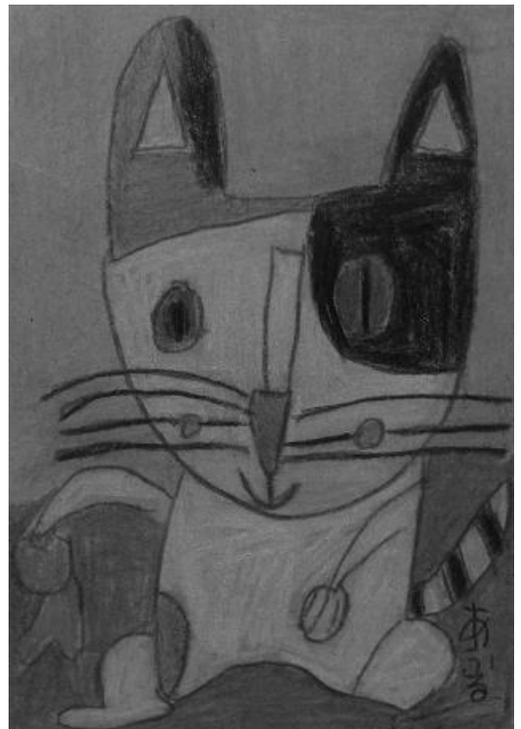
編集/京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内  
編集発行責任者/池添 素 電話&FAX(075)465-4310 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P.1 左大文字 つどめ
- P.2 常任委員会から 池添 素
- P.3 「ぶつうのくらし」を求めて 大西里江
- P.4 車いす視点から社会を斬る 83 矢吹文敏
- P.5 聴覚障害者は訴える 篠田 あゆみ
- P.6 2020年は補装具裁判も障害者施策も発展の年に 浅井 亮 P.12 ありがとうございます・催し案内
- P.7 2+2=詩 赤富士文兼
- P.8 つれづれあらぐさ 中山 恵美子
- P.9 背中を伸ばしてひとと一緒に歩む 59 すぎな
- P.10 視覚障害者のサークルめぐり 98 一谷 孝
- P.11 知っ得情報 松本 美津男

## 左大文字

お正月には凧揚げてコマを回して遊びましょーなんてお正月の風物ほもう何もなくなつたが、今年の正月は少し違つた▲1969年に第1作が始まつて1997年公開の第49作が最後になつた『男はつらいよ』かつてはお正月定番の映画だつたその寅さんが帰つてきたのだ。思つてもなかつた第50作目、「お帰り、寅さん」▲今回の企画が世間に出回つたとき、少し疑心暗鬼。あの第49作のように過去のフィルムの使い回しか? いやいや、監督は何か思うこともあるに違いない。こんな不安もありながら足を運んだ。四半世紀前のように混雑していたら辛いけれども、ガラガラだつたら悲しい。チケット購入もネットで、シルバー値段。300人ほどのホールに50人ほど。でも始まつたら、先の不安は全く杞憂に終わった▲寅さんはもちろんおいちゃん、おばちゃんもタコ社長、御前様もみんな鬼籍に入つていた。さくらやひろしはまだ存命だがすっかり年を重ね、あの満男君は妻を病気で亡くし、高校生の一人娘と暮らしている。そしていま売れっ子の新進作家だ▲あの頃の元気な寅さんやマドンナたちも次々と画面に踊る。みんな元気だつたか?! 20余年ぶりに出席した同窓会のような気分になつた。幼い満男が問い、寅が答えるあの名シーンもある。覚えてるかな。「ねえおじさん。人間は何で生きていくのかな」。寅さんの答えは? これだけでもホツと暖まる、いいお正月になつた。ぜひ映画を見て欲しい。

つどめ



「ねこ」  
渡辺あふる

# 常任委員会から

〈10年はあつという間〉

1月7日（火）基本合意10年た。

カさんのメッセージもありまし

全国集会が参議院議員会館講堂で開催されました。400人を超える全国からの参加者で熱気あふれる意義ある集会となりました。

歴史に刻み込んだ画期的な「基本合意」。その後、障害者をと

りまく情勢は、介護保険や総合支援法改正など社会保障関連施策の検討が矢継ぎばやです。

「全世代型社会保障改革」めぐっても大きな岐路にあります。

しっかりと情勢を学び、基本合意の意義と価値を再確認しながら新しいスタートを切ることができ

る集会となりました。集会には、車いす利用者で国会議員にな

られた3人の方をはじめとする国会議員と精神科医の香山りへ

井上さんからは、各地で闘ってきた足跡を残すアーカイブの仕掛けが提案されました。そういえば京都では『裁く!』を発売し、いま見ても大切な内容満載です。原告は各地で、闘ってきたのにもかかわらず、国のひどい状況に心を痛めています。

〈なんでと言葉を失った新年〉

1月1日の朝、障全協会長中内福成さんはこの世の最後の息を絶えて、あの世の人となられた。思ってもなかったことで、

「まさか」は誰もがつぶやいた言葉。2日がお通夜、3日が告別式で、私は3日に参列させていただきました。息子さんは施設に暮らしているが職員と一緒に参列。ひと時も同じところにとどまれないが、手を合わせてお焼香し、父親の死をどのように理解したかは不明だが同じ時間を過ごすことができた。

もちろん誰もが自分の寿命は

わからないし、人生の終わり方を自分で決めることはできない。もっとも本意なのは中内さん本人に間違いはない。しかし、家族はもちろん、障害者運動と一緒に取り組んできた仲間たちはもつと「なんで」と悔しいと思う。

今は中内さんの気持ちを汲んで、前に進むしかない、人生の終い時は自分では決められない。しかし生ある時には思い切り生きいかと考えさせられた。中内さんお世話になりました。

〈新連載をよろしく〉

大西里江さんの「ふつうのくらし」を求めて」と中山恵美子さんの「つれづれあらぐさ」が始まりました。ご愛読ください。

池添素（京障連事務局長）



# 「ふつうの暮らし」を求めて ①

大西 里江

## NOI 「ふつう」の意味

令和になり、時代が変わって、少しでも、誰でも、暮らしやすい社会になつてほしいと望みつつ、私の思いのまま、感じたままに書かせていただけたらと思っています。

今とても不安な社会の中で暮らしています。人は「ふつうの暮らしができたらいい」と話します。では、「ふつうの暮らし」とはどんな暮らしでしょうか。その前に「ふつう」ってどのような状態を指すのでしょうか。「ふつう」って何でしょうか。

「ふつう」はよく使う言葉です。「ふつう」という言葉は安心を与えてくれます。では、「ふつう」の定義はどうでしょうか。よく使う言葉なのに、「ふつう」についてしっかりとつきり答えることができますか？「ふつう」や「ふつうの暮らし」について共に考えてもらえたらうれしいです。



## NOII 「たいへん」の意味

社会にはいろいろな人間がいて、それぞれの暮らしがあります。一人暮らし、大家族で暮らす人、高齢の方、ひとり親などなど、さまざまな形態の家族がいます。

私の家族は、私以外進行性の難病をかかえ、それぞれ発症して、現在は寝たきりの重度障害者になりました。自ら身体を動かすことも、口から食べることも、呼吸することも大変になりました。そんな状態ですが、日々生命の尊さを伝え、しっかりと一生懸命生きています。

その姿はとても素晴らしく、勇気や励まし、そして癒してくれます。その姿を守るために、私に何ができるか？できることはないか？と思いつつ、共に過ごしています。

こんな私の家族のことを尋ねられてお話しすると、「たいへんですね」と低いトーンでいわれることが度々です。何がたいへんなのか？私には全く分からないのです。

# 車いす視点から社会を斬る!

矢吹 文敏 (日本自立生活センター)

## 「新年へリクツ」

明けましておめでとうござい  
ます。本年も変わらずお付き合  
い下さい。

さて、世の中は何かとうるさ  
く年が明け、大切なことをほっ  
たらかして目先の出来事に振り  
回されている。

その典型的な話題が元ニッサ  
ンのカルロス・ゴーンの国外逃  
亡のことで、本来の事件は単な  
る自動車会社の内輪もめのこと  
であり、特に私個人には全く関  
係の無いことである。

にも拘らず、マスコミは一方  
的に公共の電波に乗せ、新聞の  
紙面を割き、「これでもか」と言  
わんばかりにニュースを押し付  
けてくる。

確かに、ゴーンの海外逃亡の  
事件は、わが国の空港警備の盲

点を突き、逮捕拘留中の人権的

な扱いについての遅れが指摘さ  
れ、保釈中の監視体制の矛盾が  
暴かれ、わが国のテロ対策や空  
港監視の甘さが世界中に露呈さ  
れる結果となった。

また、犯罪人(まだ未決定で  
も)引き渡し条約がたった3ヶ  
4ヶ国しか締結されていないこ  
とも明らかにもなった。

私などは、容疑者として逮捕  
されたのだから「奥さんと会え  
ない」ことは当然で我慢しなけ  
ればならないのではないかと、な  
どと単純に思ってしまうが、ど  
うやら世界の人権感覚は相当に  
進んでいるらしく、いわゆる監  
獄生活というものにも「限りな  
く人間らしさ」を求めていくの  
が世界の潮流らしい。

……とすれば、障害者と呼ば

れる人たちが、いわゆる犯罪と  
いうものと全く無関係に存在す  
ることに対して、どうして謂れ  
の無い拘束を受けなければなら  
ないのか。(収容)施設という建  
物の中に長期間閉じ込められな  
ければならないのか。

可能になってしまふこと」に彼  
は気づいているのだろうか。  
「自由を求めて故郷であるレバ  
ノンに帰り、3時間近い記者会  
見で雄弁に語り、奥さんと毎日  
過ごすことが出来る自由を得た  
が、レバノンという国からは一  
歩も出ることが出来なくなり、  
日本のお寿司を料亭で食べるこ  
とが出来なくなつたことを……」

か。  
ゴーンは私たちに様々なこと  
を教えてくれた。

同じ頃、日本では、被害者の  
名前が伏せられて記号で呼ば  
れ、犯人だけが公然と名乗り、  
好き勝手に持論を吹聴している  
裁判が行われている。

「日産という大企業の経営破綻  
を救つたというのは、何万人も  
の従業員を解雇し、私腹を肥や  
して成り立ったものだったこ  
と。」

司法関係者は、被害者への配  
慮と言うが、それは被害者の家  
族への配慮であつて障害者本人  
への配慮ではない。その配慮こ  
そが障害者への差別である。

「経営立て直しの実績とそれに  
見合う以上の報酬を要求し、娘  
の結婚費用まで会社持ちになる  
程我儘になつてしまつていたこ  
と。」

マイナンバーとて役所が勝手  
に決めた番号で私が決めた番号  
ではない。ユアナンバーである。

「健常者で超お金持ちであれば  
刑罰からも逃れ、海外逃亡まで

## 聴覚障害者は訴える

2020年を迎えました。各当事者団体、手話サークルの新年大会や新年会で、気持ちを改めて「今年も一緒に目標に向けて達成しよう」と晴れやかな新年のために集まります。京都盲ろう者ほほえみの会も新年会があります。当会員の盲ろう者や盲ろう者通訳介助者が集まり食事やゲームを楽しみます。そして、今年の抱負を語り、みんなで頑張ろうと新たに団結力を結束します。

☆

盲ろう者とは、視力と聴力に障害がある重複障害をもつ者です。「光」と「音」が失われた状態で

生活しているため、独力でコミュニケーションや情報入手、移動ができない、あるいは極めて困難な状態に置かれています。「話し合える仲間がほしい」「自分で生活をし

たい」「コミュニケーション方法を身につけたい」と人間として当たり前じゃないかと希望や要望を国や社会に訴えてきました。みなさん、想像してみてください。この暗闇の中に音も聴こえない、聴こえにくい、見えない、見えにくい「触る」「見る」「聴く」三つの感覚が失われたら・・・。盲ろう者は、相手の手話を触ったり、かすかな視力で近くで見たりして、状況を把握し判断しながら自立生活をおられます。

京都の盲ろう女性Aさんは、幼少のときははろうでしたが、成人になって視力も低下してしまいました。一人暮らしで「見えへん」と手話で不安を訴えていましたが、80年以上住み慣れた家で魚を焼いたり、包丁でカボ

チャを切ったり、お風呂のガスを点火したり自力で生活しておられました。不思議な事に指を切ったことは聞いたことはありません。もつとびつくりしたことは、かみそりで後ろのうなじのうぶ毛を剃っていたことです。若いときにご自分で剃ったことがあり、この感触がまだ残っていたからです。このように長年の生活力は身につけていきましたが、情報社会で生きていくためコミュニケーション保障は乏しい。

例えば、介護保険制度という利用料の負担が発生する新しい制度等の理解を得るには時間を要しました。ケアマネジャー、ヘル

パー等、色々な人と手話で関わり、信頼関係を築き、日常生活の他にクリスマス会や新年会や遠出ドライブなどAさんの笑顔が増えてきました。最初に出会った険しい顔の表情がなくなり、「あなたが好き!」とチャーミングなお顔になりました。お亡くなりになるまでヘルパーや手話サークル員が訪問しました。みんなに囲まれて幸せだっただろうかと思っています。独りぼつちのろうあ者をなくそう!という当聴覚障害者協会の目標は京都盲ろう者ほほえみの会とも共通しています。

☆

この掲載を機に、盲ろう者の世界にも目を向けてみませんか? インターネットに『盲ろう者』と検索したら、たくさん情報が出てきます。のぞいてみてください。

篠田 あゆみ

(京都府聴覚障害者協会理事)



# 2020年は補装具裁判も 障害者施策も発展の年に

弁護士・浅井亮

新年あけましておめでとうございませう。新年あけましておめでとうございませう。新年あけましておめでとうございませう。

2019年はみなさまにとつ

てどんな一年でしたでしょう

ました。

政治の世界のニュースでは気が減入るようなことばかりでしたが、7月の参議院選挙で重度障害のある方3名が国会議員になったことはうれしいニュースでした。その流れから国会議員として仕事に必要な介助の費用負担が議論となり、さらに重度障害者の通勤や就労に対する介護サービスがなされていないことが問題視されるようになってきました。この問題は長年議論されてきたものの、なかなか社会に浸透しなかったのですが、障害者の方自らが国会に飛び込

んで取り上げたことで一気に問題意識が共有されるようになりました。

残念ながら厚労省は今回の制度見直しは見送ったようですが、2020年もお三人の活躍に注目したいと思います。

さて、話は変わってジョナさんの補装具裁判ですが、昨年9月には裁判官自らが車いすを見たいということで進行協議期日が開催され、12月の口頭弁論期日後には再度進行協議期日が開かれ、現時点の裁判官の考える争点と今後の進行について話し合いが持たれました。争点について、簡単にまとめると①リフト機能について、特例補装具の支給要件とされている「真にやむを得ない」といえるかどうかであり、リフト機能があること

が、2020年もお三人の活躍に注目したいと思います。

懸念もありますが、判決で認められても数字にして示す方がよいともいえるので、この方向での主張・立証を準備したいと思えます。テーマはデジタル・視覚化ですので、出来上がった証拠はみなさまにもわかりやすいものになるかと思えます。

いづれにしても、進行協議を開いて裁判所の考えを示すようになったのは、裁判所としてもこの問題に真剣に取り組もうとしているのだと思えます。

争点と今後の進行について話し合いが持たれました。争点について、簡単にまとめると①リフト機能について、特例補装具の支給要件とされている「真にやむを得ない」といえるかどうかであり、リフト機能があること

②について、既製品のヘッドサポートシステムと障害の特性に応じて最適なサポートを行うネックサポート金具を一緒に考

次回期日は4月13日午後3時からで、この日も引き続き進行協議が開催される予定です。次回でおおよそ主張は整理され、証人尋問に向けた準備が始まり裁判は大詰めを迎えますので、応援よろしくお願いいたします！



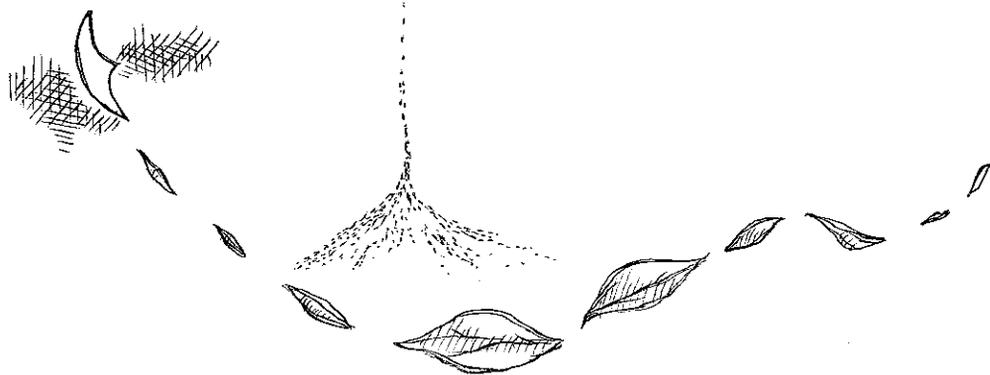
# 2+2=詩

## 「終わりの形」

例えばこの身が木の葉ならば  
一心不乱に走っていけば  
吹かれて散って飛んでいき  
痛みなんて感じぬままに  
風の一部になれるだろう

例えばこの身が砂ならば  
ただひたむきに泳いでいけば  
溶けて崩れて沈んでいき  
苦しいなんて思いもせずに  
水の一部になれるだろう

例えばこの身が幻ならば  
寢床に転がり眠りに落ちれば  
布団に沈んで染みて広がり  
善いものばかり集まった  
夢の世界に行けるだろう



けれどもこの身は肉と骨

風には散らせず水にも溶けず  
夢の世界に逃げ込むも

叩きだされて目が覚める

終わりの形は決まっている  
苦痛に耐えて炎で焼かれて  
後に残るは空っぽの骨と

つまらぬ灰が一つまみ  
それがわが身の終わりの形

我らみんなの終わりの形

## 「木の実は歌う」

薄暗くなってきた夕焼けの街角  
街路樹がうるさく歌っていた  
いずこから帰って来たのだろう  
小鳥の群れの鳴き声が

うるさく辺りに響いている  
にわか鈴なりになった  
羽毛が生えた木の実たち  
高らかに音を響かせている



作・赤富士文兼 挿絵・水口萌恵

# つれづれあらぐさ

あらぐさ福祉会は長岡京市にある社会福祉法人で、障害のある人たちの暮らしを支える事業を行っています。1986年に無認可の共同作業所を開所して以降、日中の通所から生活の場、ヘルパー事業所等、地域で暮らし続けるために必要なものを作り出してきました。

今回の連載開始にあたり、「障害者の喜びと悲しみ、家族の喜びと苦悩、職員の働き甲斐と先が見えない苦悩…そういうことが浮き彫りになればと思います」と、お話をいただきました。日々自分が経験していることや感じていることを通して、それぞれの一場面を綴れたらと思います。なお、内容については個人情報に配慮して構成しています。

## 場面①

月曜日朝の7時半、あらぐさで朝食を食べる

をしています。内容は、週末に食べたメニューや高齢のお母さんの様子、お気に入りの職員の話などです。

月曜日の朝、あらぐさへ原付バイクで向かっていると、途中の道路沿いに立って“こっちこっち”と手を振って誘導する人が見えます。一足先に到着して

「甘いあかんから」とブラツクのコーヒーにホイップクリームパン2つの日もあれば、「赤いおにぎり、おいしいねん」とゆかりおにぎり2つの日もあります。同じものを2つ食べるのが定番かと思いきや、カツサンドの時は1つでした。ご本人なりのこだわりがあるようです。

鍵を開けていると、「遅かったな」と言いつつ、門を開けるのを手伝ってくれる彼。到着予定時刻は伝えていたのですが、雨の日も傘をさしてカバンにはビニールをかけて待っています。この方は、いつからか週明けに朝食を食べに来るようになりました。コンビニで買って来たパンやコーヒー、おにぎりを持って来て、食べながら一緒に話

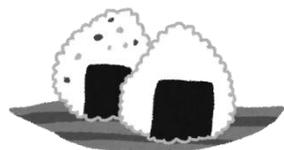
平日はグループホーム、週末は自宅で過ごす彼の食事はコンビニで調達しています。一時は出勤もとっていましたが、障害年金と工賃でやりくりしているので金銭的なことから控えています。以前「これおいしいし、中山さんも頼んだら」と持って来てくれた出前のチラシには「特上ふぐと大海老天井」。「そりゃおいしいやろな」と思わずつつこみました。

5年前に出会った頃は、周囲から集団生活の難しさが幾度となく挙げられていました。大きくは変わりませんが、彼が話したいと思える人や彼のことを理解しようとする人は、この間増えてきました。いつ・どこで何を食べるのか：週明けの朝にあらぐさで食べる朝食は、彼が見つけた生活スタイルの1つです。「そろそろ行かな、仕事頑張ってくるわ」とカバンを背負う後ろ姿に「いつてらっしゃい、気をつけて」と声をかけて、新しいいつもの一週間が始まります。

中山 恵美子

(社会福祉法人

あらぐさ福祉会)



# 背中を伸ばつてついでに一緒に歩む

## すぎな（訪問看護師）

### 59 珍道中

うところである。が。

久しぶりに東京に行く用事が出来た。新年早々の朝、5時からバタバタと準備をして京都駅へ。いつもの研修なら、気楽に自由席で「行ったとこ勝負」にしていた。東海道新幹線は本数も多く、開始時間にさえ間に合えばよいから、何本か待って乗れそうなどころで適当に乗っていた。

ところが今回は、日程が帰省ラッシュの最中とあって、あらかじめ指定席を購入した。希望の時間帯は10日前ですでに満席で、1時間半以上早い時間帯をやつとのことで購入できた。前日の新幹線上りの乗車率は指定席100%、自由席140%。当日、「少々朝が早くなっても、座って行けてよかったね」とい

それまでにさかのぼること7時間前。京都市北区のとある山

際地域は、深夜突然の暴風と大雨に見舞われていた。「うそやん。さっきまでの天気予報では、曇りのち晴れて出ていたやん。」実は東京での用事は、着物のドレスコード付きイベントであった。結局、私の祈りはお天気の神様に届くことなく、そのまま雨は翌朝の京都出発時

も降り続き、滋賀県あたりで、ピタリと止んだ。替わって、東京は快晴。イベント開始まで1時間半以上もあるため、駅近くで開催されている絵の展示会を見に行くことにした。しかし、元々おおざっぱな性格で、計画を立てるのは好きだが、細部にわたって

綿密に立てると息苦しくなるので、「大体こんな感じ」で出発してしまふ傾向がある。今回もそれが裏目に出た。会場までの地図アプリを出すのは良いが、一旦立ち止まるということをせずに地図を見ながら反対方向に歩き出してしまふ。しばらく行っ

てから修正をしつつ、何とか会場に着いてびっくりのものすごい行列。よく調べていなかったが、人気の展示会で前日も1500人ぐらい詰めかけ、入場制限がかかっているという。1時間以上待って、何とか入場し、10分で眺めて退出。目的のイベントまでは残り30分。さあ間に合うか？

会場までの最短ルートを検索して、地下鉄乗り場に急ぐ。着物で競歩をする羽目になるとは、思ってもいなかった。乗り物の便利さにおんぶしている日常の運動不足が身に染みる。髪を振り乱し、息切れしながら

ら会場入りはしたが、何とか間に合い、イベントも無事終了。帰りの新幹線の中で、「今日1日、頑張ったなあ。」とご褒美のビールを開けた時、ハツとした。「切符はどこ？」そのあとは、ご褒美のビールをそつちのけ

で、荷物をひっくり返し、着物のたもとや襟合わせ、入りそうな隙間を探しまくって最後、回ってきたお姉さんに「切符がないのお」と泣きついた。東京駅でビールを買う時、落っこしていたそう。親身に探してくれた皆様、拾ってくださいありがとうございます。

新年早々から、今年1年の波乱を予感させるような、凝縮した1日を過ごすことができたと思う。ここまで来たら、もう、何でも来いって感じですよ。2020年。きつと何とかかなる、大丈夫、大丈夫。

## 視覚障害者の

## サークルめぐり(98)

### クラブ員の思い

ハーモニカサロンは、毎月第3火曜日午後から京都ライトハウス研修室で活動しています。

今回の執筆者は、長い間会社員として働いておられました。網膜の疾病のため、15年ほど前から極度に視力が落ち、全盲に近い状態になりました。2009年4月からライトハウス鳥居寮で歩行をはじめ各種訓練を受け、社会参加されました。鳥居寮の先輩たちからハーモニカサロンなどに入会して活動するよう勧められ、ヨーガ・なつメロサロンにも参加されています。

### 心から楽しむことができる

### ハーモニカ

### (福井 久男)

私は、2011年3月に2年間鳥居寮の訓練を修了しました。日常生活がある程度容易にでき

るようになった実感を得た一方で、「明日からライトハウスに通う必要がなくなるなあ」という寂しさがこみ上げてきました。家で引きこもる時間が長くなると社会との交流が減ると思い、今後の生活設計をどうするか、暗中模索する日が続きました。もともと私は趣味の少ない人間で、将棋を嗜む程度でした。このような折りに、鳥居寮の先輩たちから「ハーモニカクラブ(現在ハーモニカサロン)に参加しないか」と誘われました。小学生の頃に授業でちょっとハーモニカを吹いたことはありますが、60年ほど前の話で、綺麗に吹ける自信は全くありませんでした。「探り吹きをしているうちに自然と吹けるようになる」と背中を押されて決断し、C調(ハ調)のハーモニカを4千5百円くらいで購入しました。

と吹き、「レ・ファ・ラ・シ」と吸って音を出すことを教えてもらいました。ドからドまでの1オクターブの音を出せるようになることから始めました。童謡などの簡単な曲を歌詞で歌ったり階名で歌ったりして覚え込み、吹いてみると曲が綺麗な音色にのって演奏できる大きな喜びと感動を覚えたものでした。

ハーモニカサロンの指導者は、男性の田中先生と女性の藤野先生のお二人で、分かりやすくとても熱心に教えてくださいます。また、ルームボランティアの山田さんの行き届いたサポートのおかげで楽しく安心して練習することができています。このサロンでは、男女合わせて14、5名ほどの会員、数名のガイドヘルパーそして指導者を含め20名前後の人が和気藹々と楽しんでいきます。会員のハーモニカを吹く力の差は大きいのですが、それぞれのレベルに応じて楽しむことができるのはこのサロンの良いところではないかと思っています。毎回、課題曲を決め、全体を歌詞と階名で歌えるように繰り返し練習したのち、フレーズごとに正しく階名で吹けるようになります。フレーズごとに正しく吹けるようになれば、全体を通してテンポや音高、リズムが綺麗に吹けるようになるまで繰り返し練習します。サロンの後半は、各人が自信のある好きな曲を演奏して、進歩した力を皆で認め合うようにしています。

このサロンのように、曲を声に出して歌ったり、楽器を演奏して楽しんだりすることが音楽であると強く感じています。まさに、音楽を楽しむ満喫することのできるサロンだと感じます。また、大正琴やオカリナ、その他の楽器とのアンサンブルをすることもでき、一層楽しく活動しています。得手不得手を気にせず、どなたでも参加して心から楽しんでください。

# 知っ得情報

## 新年のご挨拶

松本 美津男

今年が京障連結成50年の年です。

1969年の障全協全国集會に京都から参加したメンバーを中心に組織を作ろうと準備が進められ、70年11月15日京障連は結成されました。

当時、成人の障害者関係組織は障害別に結成されており、全ての障害者が一緒になって運動をするスタイルは、京障連が結成されて初めて確立したと言えます。

昨年は「桜を見る会」問題で7割もの人たちが首相の説明に納得できないと答える状況になり、IR事業汚職事件で自民党国会議員が逮捕される事態が起きました。

今年になって、アメリカとイランが一触即発の状況なのに政府は中東への自衛隊派遣を止めようとしていません。

民主主義と平和が益々重要となっています。

今年、京都市長選が行われます。京都市は障害者関連施設や病院を廃止し、さらに三つの施設を一つにしてしまおうとしています。このような市政はなんとしても変える必要があります。

さまざまな困難を抱えています。記念すべき結成50年にふさわしい活動を進めていきたいと考えていますので、今年もよろしくお願い致します。

あなたもぜひ  
仲間に



サロン・サークル・地域活動展開中  
生活支援スタッフ(資格不要)募集中  
介護職員(資格要)募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう  
元気な高齢者はもっと元気に

「よろず相談」承ります(随時)



あなたも支える存在に

京都市北区紫野東野町1-5  
電話075-432-3636

命の平等をかけた、  
無差別平等の医療と  
福祉の実現をめざす

働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介ください



京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階

TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017

Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>

e-mail: [info@kyoto-min-iren.org](mailto:info@kyoto-min-iren.org)

ありがとうございます

■**寄付** 井上吉郎

■**障全協署名**

きょうされん京都支部 52 筆

京都市職員労働組合 338 筆

肢体障害者友愛会 164 筆

(敬称略 2020/1/5)

■**障害乳幼児の発達保障と自治体行政のあり方**

日時：1月25日(土) 10:00~13:00

場所：佛教大学紫野キャンパス1号館401号室

内容：報告①「障害乳幼児に関する自治体施策の課題」近藤直子さん(あいち障害者センター)、報告②「堺市の療育支援システムと堺市社会福祉事業団の取組み」篠原純代さん(第2もず園)

問合せ：佛教大学大学院社会福祉学研究科(090・8379・5634、若林)

■**第45回 視覚障害者福祉啓発事業「あい・らぶ・ふえあ」～見えない・見えにくいを知ろう!**

日時：2020年2月5日(水)

～8日(土) 場所：大丸京都店6階イベントホール

内容：「見えない・見えにくいを知ろう」というテーマで、一般市民に視覚障害者の生活を分かりやすく学んで

いただけるように、企画している。内容：

①体験(点字・手引き体験、マッサージ施術体験、視覚障害者スポーツを知る・盲導犬とふれあう・便利グッズ紹介)②ステージ発表③小学生絵画コンクール④福祉事業所の手作り商品や盲導犬グッズの販売、ボランティア活動紹介 問合せ：462-2414

■**驚異のクリエイションパワー** 特別出品

：高知・竹林寺の襖絵 日時：～2020

年3月29日(日) 場所：京都府立堂本

印象美術館 内容：印象は、1950年代半ば

からは日本画家による抽象画という今までに見られなかった前衛的な表現を国内外で次々と発表し、画壇に鮮やかな足跡を残した。本展では、63年に描かれた高知・竹林寺の襖絵を約14年ぶりに特別公開。完全な抽象表現で彩られた豪快な襖絵は、日本の障壁画史においても画期的な作品だ。入館料：510円 問合せ：京都府立堂本印象美術館(463-0007)

■**講演会・子どもとおとなの生きづらさに向きあい、いつからでもやりなおせる社会に**

日時：4月5日(日) 13:30~16:30

場所：立命館大学朱雀キャンパスホール

内容：講演「もしも「死にたい」と言われたら」松本俊彦さん(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

問合せ：立命館大学人間科学研究所、かもがわ出版、福祉広場(465-4130)

■**井上ひさし没後10年 講演と映画でのぞく「ひさしワールド」**

日時：2020年4月

12日(日) 13:30~17:30(開場：12:30)。

途中15分の休憩あり。場所：響都ホール(京都駅八条口南)。参加自由・無料。

内容：4月9日は、作家・井上ひさしの没後10年にあたります。これをきっかけに、

「ひさしワールド」をのぞこうと考えて、集会を企画しました。井上ひさしの仕事を振り返り、「ひさしワールド」をのぞきませ

んか。講演：「小森陽一さん(東京大学名誉教授、9条の会事務局長) \*演題「井上ひさしと憲法九条―没後十年にあたって―」

(90分。井上ひさしと小森陽一さんは、『座談会 昭和文学史 全6巻』(集英社)を共

編しました)。映画：『父と暮せば』(井上ひさし/原作、監督/黒木和雄、出演/宮

沢りえ、原田芳雄、2004年、99分)

問合せ：実行委員会(代表：細川孝(龍谷大学教授)、465-5451)